

雪氷研究大会(2009・札幌)において、2つの企画セッションを開催しました

寒地交通チーム・雪氷チーム

(社)日本雪氷学会と日本雪工学会の合同全国大会である「雪氷研究大会(2009・札幌)」が平成21年9月29日から10月3日にかけて、北海道大学学术交流会館を中心に開催された。

この中で、地域や分野の抱える雪氷関連の個別課題について十分な議論を行う「企画セッション」が7つ設けられ、参加費無料で一般市民に公開された。このうち「積雪／凍結路面のすべり計測とすべりを基にした路面管理の対策技術」、「防雪林 ～未来へどう引き継ぐか～」の2セッションを寒地土木研究所が共催により開催した。



写真-1 セッションの状況

企画セッション「積雪／凍結路面のすべり計測とすべりを基にした路面管理の対策技術」

本セッションは、寒地土木研究所と日本雪工学会道路研究委員会の共催で開催した。

セッションでは、道路管理、タイヤ、自動車、航空の各分野における、路面のすべりの計測技術とすべりに基づく路面管理の対策技術について、各機関の技術者からそれぞれ話題提供があった。その後、会場を交えてディスカッションを行った。

道路管理、タイヤ、自動車、航空分野の技術者が一堂に会したのは初めてということもあって、60名以上の方から参加があり、熱心な議論が交わされた。

表-1 プログラム

企画セッション「積雪／凍結路面のすべり計測とすべりを基にした路面管理の対策技術」
開会挨拶： (社)日本雪氷学会道路研究委員会委員長 村國 誠 氏
話題提供： 「道路分野におけるすべりの計測技術とすべり抵抗値の活用」 (独)土木研究所寒地土木研究所 総括主任研究員 高橋 尚人 「タイヤで路面状態を検知する～センシングテクノロジータイヤ開発の現状と将来」 (株)ブリヂストン タイヤ先行技術開発部フェロー(課長) 森永 啓詩 氏 「SKY プロジェクトにおける安全なクルマの開発～寒冷地のスリップ事故低減を目指す情報提供サービス」 日産自動車(株) 電子技術開発本部 IT&ITS 開発部 高橋 正起 氏 「降雪と航空機の運航～冬期運航における滑走路面摩擦測定」 国土交通省航空局管制保安部運用課 航空情報調整係長 龍 幸信 氏 (財)航空輸送技術センター 主任研究員 上野弘之 氏 「ロードヒーティングの停止に伴う冬期路面管理の変更について」 札幌市 建設局管理部雪対策室事業課除雪体制担当課長 荻田 葉一 氏
ディスカッション： 「すべりの計測技術向上と道路、車、タイヤによる総合的な安全性の構築に向けて」

企画セッション「防雪林 ～未来へどう引き継ぐか～」

表-2 プログラム

本セッションのオーガナイザーは、雪氷チーム主任研究員の伊東靖彦と、(独) 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター総括主任研究員 阿部修氏が務めた。

セッションには鉄道事業者、道路管理者、維持作業担当者、研究者等々幅広い顔ぶれで、44名の参加を得た。

このセッションは2部構成で行い(表-1)、前半では防雪林設置者から北海道の防雪林の現状や課題について講演いただいた。

この中では、造成初期の植栽密度の設定について課題があることや、元々防雪林の専門職がないことや団塊世代の退職などにより、持続可能な維持管理における技術継承が必要との指摘がなされたのが印象的であった。

後半では有識者から北海道の防雪林における課題について話題提供いただくとともに、会場参加者全体で防雪林の課題について整理・討議を行った。

会場では参加者各人に付箋紙を数枚づつ配布し、防雪林の課題について短いフレーズで、書き入れてもらった。これらの課題(付箋紙)を、ホワイトボード2枚の上に貼り付け、これを用いながら会場で防雪林の課題について、情報や意識の共有を図った。

付箋紙は100枚余り集まり、防雪林の数値目標や今後のあり方など大局的なものから、造成基盤の課題など実務的なものまで幅広意見が出された。

議論は予定時間を大幅に超過するほど白熱したものとなり、引き続きこれらの課題を討議する機会を持ちたいと考えている。

(文責 寒地交通チーム 高橋尚人
雪氷チーム 伊東靖彦)

企画セッション
「防雪林 ～未来へどう引き継ぐか～」
講演 防雪林の経緯、現状、認識する課題について
北海道旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部工務部工事課 担当課長 小澤 直正 様
北海道開発局 建設部 道路維持課 開発専門官 河上 聖典 様
東日本高速道路株式会社 北海道支社管理事業部保全課 田村 奈津子 様
討議 防雪林の課題について
話題提供 北海道立林業試験場 森林環境課 防災林科長 鳥田宏行 様
環境林づくり研究所 所長 斎藤新一郎 様
講演の後、会場全体で 「防雪林の課題」について討議



写真-2 講演の状況(小澤氏)



写真-3 ディスカッションの状況